

# こんな活動もしています!

## ●シトラスリボンINとちぎあしかが実行委員会

新型コロナウイルス感染症に感染した方や医療従事者に対する誹謗中傷や差別をなくそうと訴える活動が、愛媛県から始まり、足利市内でも活動の広がりをみせています。

令和3年度のアシかが実行委員会では、赤い羽根共同募金からの助成を受け、市内小中学校の児童生徒との交流活動を中心に行っていました。

前年度に引き続き、協和中福祉会から依頼を受け、シトラスリボンづくりの指導、今年度は、新たに第3中学校、協和中学校などの生徒にシトラスリボンを贈るなど、活動の幅を広げることができました。



## ●ボランティアグループ あしかが子育て応援ネット

子育てするなら足利市を目指し、子育て情報誌の作成や子育て支援(食物アレルギー座談会や知的・発達障がい講座開催など)をするボランティア団体です。9月には、18回目となる「あしかがいっしょに子育てガイド学童期編」また、4月には、「乳幼児期・思春期編」も完成しました。



## ●RUN伴+足利・佐野2021実行委員会

認知症への理解と啓発をすることを目的に、オレンジをイメージカラーとし、全国各地で「タスキリレー」を行っています。コロナ禍ということもあり、タスキリレーは中止としましたが、令和3年度からは、主旨に賛同くださる市内企業や公共施設において「オレンジフラッグリレー」を実施しました。前年度に引き続き、「オレンジライトアップ」を史跡足利学校や足利織姫神社、前年度からは新たに、(株)トチセン様と実施しました。

10月31日(日)には、コムファーストのコムコム広場をお借りして「RUN伴+足利・佐野」の活動紹介と認知症への啓発展示を行いました。



## ●千葉市・足利市制100周年を祝したクラフトビール「あしたのみち(足楽味千)」

1921年1月1日に誕生した市は、足利市と千葉市のみ。このストーリーを活かし、足利市出身の千葉大学教授と共に、販売までこぎつけることができました。足利から仕入れた麦を使い、千葉市内のブルワリーで製造しました。



## ご理解をお願いします。ワクチンハラスメント

体質や持病などの理由で、新型コロナワクチンを接種できない人もいます。また、接種を受けることは強制ではなく、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、自らの意志で接種を受けていただくことになります。

接種していない人に対して、接種の強制や差別、不利益な取り扱いを行うことのないよう、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

## ワクチン接種をした人も、これまで通りの感染対策を

ワクチンを接種していれば、ブレークスルー感染が起こってもほとんどの場合、重症化を免れます。しかし、感染することもありますし、感染しても発病しないことも多いので自分では気が付かないこともあります。

もし、マスクを着用しないで会話をしたり、3密の場所に入ったりすると、他の人にうつしてしまう恐れがあります。これまで通りの感染対策を続けていただきたいと思います。

## 足利市公式ライン始めました!

生活に役立つ情報をお届けします!

- 新型コロナ関連情報
- 証明書取得に関すること
- 子育て情報 など!



- 生活に役立つ情報を探せます! 子育てや証明書取得の手続きなどの情報を、LINEで調べることができます。新型コロナウイルスに関する情報も掲載しています。
- 欲しい情報が届きます! 各種イベントや災害の情報などをLINEで発信します。ごみ出し通知機能もあります。
- LINEで報告できます! 道路の破損や資源物持ち去りなど、LINEで報告できます。
- お問合せ 足利市役所 デジタル戦略課 デジタル推進担当 [Tel.0284-20-2114]

友達追加はこちらから



## 感謝状をいただきました!

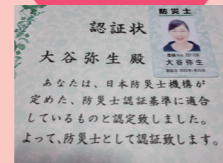


2021年11月12日 足利高等学校創立100周年記念式典実行委員会様より

2021年11月13日 自衛隊栃木地域協力本部長様より

## あまり知られていない? 政治家7千情報

## 防災士の資格を取得しました!



こんな看板見たことないですか。この看板は「政治家と後援会連絡所看板」といい、政治家用6枚・後援会用6枚の最大で12枚設置することができます。4年に一回、看板設置申請手続きがあり、許可シールを貼っていきます。

## お困りのことがありましたら、ご相談ください。

道路の破損や陥没、不法投棄、ワクチン接種や助成金などの申請書類などなど、これまでも、たくさんのご相談を頂戴しています。



足利市議会議員

# 大谷やよい

いつも元気でおせっかい

# あししぎ・あしあと

## ●ごあいさつ

去る2015年4月に行われました足利市議会議員において、多くの市民のみなさまのご支持を頂き、市議会という新たな活躍の場を与えていただきました。8年目を迎える今でも、ご支持いただいたみなさまには、感謝の気持ちでいっぱいです。

平成8年に第1子を授かってから、子ども達が縁となって活動が始まったPTA・子育て支援や学校支援・サッカー審判活動など、多くの仲間を支えられ、様々な活動をしてきました。

しかし、活動を重ねるにつれ多くの課題にぶつかり、ボランティア活動の限界を感じ始めました。本格的に活動したい。もっともっと足利市をよくしたい。との思いで立候補。

おかげさまで現在は、これまでの市民活動も継続しながら、また、新たな活動も加わり、これまで以上に多くの足利市民のみなさんと一緒に活動することができています。

みなさんと一緒に活動することで、足利市をよくするヒントやアイデアをいただき、市議会議員としても活動の幅が広がりました。

これまで私が活動してきた内容は、市議会定例会が終了するたびに「あししぎ・あしあと」という題名の活動報告書を作成し、地元である北郷・名草地区を中心に配布してきました。「あししぎ・あしあと」とは、「足利市議会議員として活動した足跡」を略した造語です。議員として活動した7年目の足跡を、もっと多くの方にお伝えし、ご指導を頂けたらと思い、あししぎ・あしあと25～28号分をまとめた「2022 特集号」を今年度も作成しました。一読いただくと嬉しそうです。

いつも元気でおせっかい大谷弥生は、これからも身近で親しみやすく、そして8年目となる今年度も、「初心忘れず、所信ぶれず」で頑張ります!これからもご指導をお願いいたします。



## ●令和4年 第2回市議会定例会 3月議会(予算議会) 2月25日(金)～3月24日(木)

3月9日(水)10時より、25回目となる一般質問を行いました。西宮町林野火災から1年。林野火災でも大活躍した消防団。将来にわたって欠くことができない・代替性のない存在である消防団について、日頃からの感謝の気持ちを込め、質問しました。質問内容は、下記の通りです。



1. 消防団を中核とした地域防災力の充実強化について
  - (1) 消防団員の処遇改善
    - ・令和3年4月、総務省消防庁長官より通知された消防団員の報酬等の基準の策定については、非常勤消防団員の報酬等の基準などが示された。
    - ・同通知は、消防組織法第37条の規定に基づく助言として発出されており、消防団員の処遇の在り方を大きく変える内容であるが、本市はどのように受け止め、改善していくのか。
  - (2) 消防団員の確保
    - ・令和3年8月に取りまとめられた消防団員の処遇等に関する検討会の最終報告書によると、全国的に消防団員数の減少が危機的な状況となっているが、本市の状況について聞きたい。
    - ・基本消防団員を確保していくためには、消防団の知名度向上やイメージアップのための取組・働きかけをこれまで以上に必要があると考え、本市では現在どのように行っているのか。
    - ・災害が多発化・激甚化しており、消防団に求められる役割も多様化している。本市における機能別消防団員の現状と活動状況について聞きたい。

## ●令和3年 第8回市議会定例会 12月議会 11月30日(火)～12月22日(水)

12月13日(月)13時より、24回目となる一般質問を行いました。わたらせTVなどでご視聴いただいたみなさん、本当にありがとうございます。

今回は、特に、自主財源の確保や女性活躍が人口増加に繋がっていくことについて。さらには、防災士を取得しましたので、足利市地域防災計画の改定を促しました。

具体的な内容は、以下の通りです。

1. 債権管理について
  - (1) 管理の適正化
    - ・令和2年度決算審査等参考資料によると、一般会計の収入未済額は、収入では約3万6,000件、約8億9,000万円、税外収入では約1

2. 持続可能な行財政改革について
  - (1) 外郭団体の在り方
    - ・国は、平成26年度に第三セクター等の経営健全化等に関する指針を策定し、各地方公共団体において、自らの判断と責任による第三セクター等の効率化・経営健全化にさらに取り組むことを要請してきた。
    - ・こうした動きを受けて、本市の行政と密接な関係にある5つの外郭団体においては、これまで所管課が課題の把握に努め、各外郭団体の自主自立の促進を図っているが、どのような課題があり、どのように自主自立を促進しようと考えているのか。
    - ・外郭団体の運営に係る補助金等の算定根拠について聞きたい。
    - ・本市の行政と密接な関係にある5つの外郭団体に対して、活動状況や経営状況の検証を行い、市が外郭団体に求めることや市の関与の在り方など基本的な考え方を示すべきではないか。
  - (2) 足利市社会福祉協議会との政策運動
    - ・市民が抱える課題が多様化・複雑化する中、そうした福祉サービスに対応するためには足利市社会福祉協議会との連携や協力は欠かせないものとなっている。
    - ・また、これまで財政的支援や人的支援などを継続して行い、また、令和2年度からは、部長級の職員を理事として派遣し経営の見直しを図ってきた。今後、足利市社会福祉協議会に期待する役割について聞きたい。
    - ・足利市地域福祉計画・足利市地域福祉活動計画を本市と足利市社会福祉協議会とで策定したことにより、相互の事業が見える化され、今後、効果的・効率的に事業を実施することが可能となり、より一層の政策運動が図られると考えるがどうか。

万件、約4億1,000万円であった。公債権である市税のうち、未納となっている債権の管理はどのように行っているのか。

・債権には、税のように徴収職員に強力な調査権限が付与されていない税外収入の債権もある。税外収入を扱う職員には、調査権限がなく個人情報保護に関する法律などによって情報の取得に制限がある中、どのように収入未済に係る財産調査を行い、債権の管理をしているのか。

2. 公金について
  - (1) 保管・管理及び運用
    - ・令和2年度の歳入歳出外現金の収入額は約99億円であり、支出額との差額である約5億円を令和3年度へ繰り越しているが、どのように保管や管理をしているのか。
    - ・地方自治法第235条の4では、普通地方公共団体の歳入歳出に属す

# 大谷やよい事務所

〒326-0006 足利市利保町2-8-18 TEL.0284-42-1413 (留守が多く迷惑をおかけいたします。伝言をご利用ください。こちらからご連絡致します。)



る現金は、政令の定めるところにより、最も確実かつ有利な方法によりこれを保管しなければならないと規定されている。公金の運用は自主財源の確保につながるかと考えるが、本市ではどのように運用しているのか。

3、男女共同参画について

(1) 地域における男女共同参画の推進

- ・令和2年12月25日に閣議決定された第5次男女共同参画基本計画によると、地元出身の若い女性が東京で暮らし始めた目的や理由として、地元や親元を離れたかったことが挙げられている。その背景として地方には固定的な性別役割分担意識等が根強く存在しており、女性の居場所と出番を奪っていることなどが考えられる。
- 令和3年3月に策定された足利市男女共同参画基本計画（第4期）で

は、固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見、無意識の思い込みなどの解消について、どのように反映したのか。

- ・地域における男女共同参画や女性活躍の推進は、優秀な人材の確保や定着につながると考えるがどうか。

4、足利市地域防災計画について

(1) 教訓を活かした計画の改定

- ・足利市地域防災計画は毎年度改定されているが、関係法令の改正による修正が中心であるとの印象を受ける。本市は、小俣地区や名草地区における林野火災、令和3年2月の西宮林野火災、令和元年東日本台風の被害を経験しており、これらの教訓を生かして計画を改定していく必要があると考えるがどうか。

● **令和3年 第6回市議会定例会 9月議会（決算議会） 8月26日（木）～9月22日（水）**

9月8日（水）13時より、23回目となる一般質問を行いました。今回も、新型コロナウイルス感染症に配慮した一般質問を行うこととなり、時間短縮を心掛けて行いました。

1点目は、新型コロナウイルス感染症の影響で、足利市の税収も減少しています。景気の低迷に遅れて税収減が追いかけてきますので、回復には長期間を要することが想定されます。このような状況で、新市長は、どのような財政運営の舵取りをしていくのか。どのような考えを基に政策展開していくのかを伺いました。

2点目として、ワクチン接種によって、ワクチンハラスメントが起きています。更なる啓発強化を行う必要があることを伝えました。

最後は、「ヤングケアラー」について、子どもたちの未来（就学や就職）への価値観に影響がでないようにするためにも、足利市においても、早期発見や支援策の推進を行うべきと伝えました。

具体的な内容は、以下の通りです。

- 1、持続可能な財政運営について
- (1) ワイズスペンディングの考え方
- ・令和3年6月に閣議決定された経済財政運営と改革の基本方針 2021において、国は地方財政改革と地方行政の見える化改革・EBPM(証拠に基づく政策立案)を引き続き推進し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金など地方自治体にとって自由度が高い予算措置について事業の用途等の比較検証を行うとしている。
  - 本市においても同交付金などを活用してきた感染症対策や経済対策について、予算の執行状況の点検や費用対効果の検証を行い、その結果を行政機関内部にとどめず分かりやすい形で公表することで、今後も起こり得る大規模感染症の対策に生かせるようにすべきと考えるがどうか。
  - ・同基本方針によると、国は新型コロナウイルス感染症の収束後、早期

に地方財政の歳出構造を平時に戻すとしている。本市では、同感染症の影響などから市税等は令和元年度に比べて落ち込みを見せ、回復への長期間化も想定される。さらに厳しい財政状況が続くことが懸念されるが、今後の本市の財政運営について市長の考えを聞きたい。

2、新型コロナウイルス感染症について

(1) ワクチン接種と人権問題

- ・国は新型コロナウイルスワクチンについて、希望する全ての対象者への接種を令和3年10月から11月にかけて完了することを目指すとしているが、本市では11月中の接種完了に目途がついているのか。また、どの程度の接種率を目指しているのか。
- ・令和3年7月に変更された新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針によると、国はワクチン接種について、国民が自らの意思で判断を行うことができるよう取り組むこととしている。ワクチン接種は任意接種であるにもかかわらず、接種の強要や接種を受けないことへの差別的な扱いなどのハラスメントが報告されておりワクチン接種に係る人権啓発についてさらに強化を図るべきと考えるがどうか。

- 3、共助・共生社会づくりについて
- (1) ヤングケアラー
- ・国はヤングケアラーについて、早期発見・把握、相談支援などの支援策の推進、社会的認知度の向上などに取り組むため、令和3年5月にヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチームを立ち上げた。同チームは、ヤングケアラーを学校や地域などで早期に発見して支援につなげるための施策を取りまとめ、スピード感を期して取り組むとしている。
  - また、栃木県那須塩原市では、ヤングケアラー経験者を講師とする中学生へのキャリア講習会や無料通信アプリLINEを活用した相談窓口の開設などの先進的な取組を行っている。本市はこうした動きをどのように捉えているのか。

● **令和3年 第5回市議会定例会 6月議会 6月4日（金）～6月28日（月）**

6月16日（水）～18日（金）、新市長が誕生したことを受け、一般質問の形式を会派代表質問（会派に所属する議員）と個人質問（会派に所属していない議員）に変更して、行われました。私は、会派「織姫クラブ」を代表して、黒川貫男議員と共に質問しました。私が質問した内容は、下記の通りです。

- 1、新型コロナウイルス感染症について
- (1) 障がい者施設内でのワクチン接種
- ・厚生労働省は、令和3年4月に 障害者支援施設等入所者等及び従事者への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種についての事務連絡を改正し、基礎疾患の有する者の範囲に重い精神疾患や療育手帳を所有している場合の知的障がいを追加したが、障がい者施設の入所者等及び従事者に対して施設内接種はできないのか。
  - ・令和3年4月に本市にある障がい者施設に対して市が行ったワクチン接種意向調査の結果について聞きたい。
- 2、障がい児支援について
- (1) 児童発達支援センターの設置
- ・平成24年4月に改正された児童福祉法により、障がい児施設等の見

直しが行われ、児童発達支援センターの指定基準にこれまでの児童発達支援に加え、地域支援に取り組むことが定められた。地域支援の実施については、事業所に対し、平成27年3月末まで実施しない形態も可とする経過措置が設けられたが、地域支援を行う事業所は現れず、現在、児童発達支援センターが設置されていない状況である。障がい児相談支援や保育所等訪問支援などの地域支援は、これまでどのように行われてきたのか。また、地域支援について、どのように捉えているのか。

- 3、児童養護施設について
- (1) 小規模化及び家庭的養護の推進
- ・平成23年7月、児童養護施設等の社会的養護の課題に関する検討委員会及び社会保障審議会児童部会社会的養護専門委員会において、社会的養護の課題と将来像が取りまとめられた。現在、これに沿って社会的養護の地域化、施設の人員配置の引上げなど、社会的養護の充実を図るための取組が進められている。児童養護施設泗水学園においても、できる限り小規模で家庭的な養育環境の形態に変えていくことが必要であると考えるが、本市の考えを聞きたい。

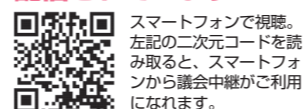
※詳細は、足利市議会ホームページ「会議録検索と閲覧」よりご覧になれます。

**傍聴にきませんか？**

次回、令和4年第3回市議会定例会は、5月27日（金）～6月21日（火）  
一般質問は、6月8日（水）～10日（金）10時～  
足利市役所3階 議場にて傍聴できます。

上記は、あくまでも予定です。詳細は、足利市議会ホームページ等でご確認ください。お待ちしております。

私の一般質問の様子がインターネットで配信されています！



スマートフォンで視聴。左記の二次元コードを読み取ると、スマートフォンから議会議中継がご利用いただけます。

**一般質問のその後！**

2期7年の間で25回の一般質問を行っています。質問回数は、議員の中で上位であると自負しています。今回は、これまで質問した内容がどのように活かされ、実行されているのかお伝えをします。

■ **平成28年12月議会（令和2年12月議会でも再度質問）**

質問：企業版ふるさと納税制度を活用せよ

➡ 令和3年11月、本市初となる企業版ふるさと納税の申し出がアキレス株式会社様からありました！

■ **令和元年9月議会**

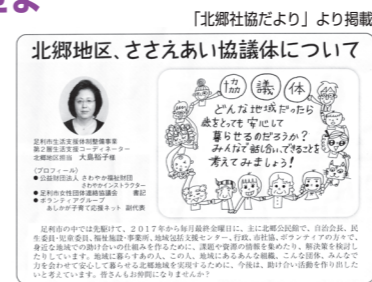
質問：足利市消防本部における消防指令センターの共同運用を推進せよ

➡ 令和3年12月、栃木県内（栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市）の消防本部と共同運用について検討を開始したと報告がありました！

■ **令和元年12月議会**

質問：ささえあい協議体の2層コーディネーターを早急に配置せよ

➡ 令和3年4月から北郷協議体に配置されたコーディネーターの大島さん



「北郷協だより」より掲載

**変わりつつある足利市**

1921年1月1日に誕生した足利市。一度の延期を経て、2022年2月6日（日）に、足利市制100周年記念式典を開催しました。そして、新たな100年が始まった足利市。同時に、公共施設の建て替えなども今後進められ、まちの景色が変わりつつあります。公共施設の今後の予定についてお伝えします。

① **斎場**

新斎場は、令和6年11月からの全面供用開始を目標に、令和4年4月には、工事請負業者の入札が始まり、12月には、仮設斎場の供用が開始されます。

② **南部クリーンセンター**

新南部クリーンセンターは、令和9年～10年の供用開始を目標としています。令和4年4月には、センターの整備・運営の予定価格を設定するため、各プラントメーカーから参考見積もりを聴取しています。また、本事業は、本市初のDBO方式を採用するため、新たな事業者選定条例を制定しました。

③ **新足利高校**

令和4年4月1日新足利高校が誕生し、進学重視型単位制高校となりました。新校舎が完成するまでの間は、旧足利高校で学び、新校舎は、令和6年9月に完成予定です。新たな学校の敷地となる足利市民会館の解体も終わり、これからは、足利女子高校の解体や新校舎建設作業が始まります。



**西宮町 林野火災のその後**

令和3年2月に発生した西宮林野火災から一年。みなさまから頂戴したふるさと足利応援寄附金などを使い購入した消防資機材を活用し、放水活動訓練を行いました。また、今後の大規模林野火災対策のため記録誌や検証誌を発行し、さらには、林野火災を二度と発生させないために「足利市の美しい山林を火災から守る条例」を制定しました。

